

令和6年度

全国学力・学習状況調査の  
結果概要

山梨県教育委員会

令和6年度

## 全国学力・学習状況調査の結果概要について

山梨県教育委員会

### 1 調査の概要

(1) 実施日 令和6年4月18日(木)

(2) 目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・上記のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(3) 調査事項

①教科に関する調査(国語、算数・数学)

- ・出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

ア)身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

イ)知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では、上記ア)とイ)を一体的に問うこととする。

②学習環境や生活の諸側面等に関する質問調査

- ・児童生徒に対する調査及び学校に対する調査

(4) 対象 小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年  
中学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年の全児童生徒

(5) 県内(公立学校)の実施状況

	公立小学校	特別支援学校 小学部	公立中学校	特別支援学校 中学部	合計
学校数 (分校含む)	163校	2校	79校	4校	248校
児童生徒数	5,641人		5,542人		11,183人

## 2 結果の概要

### (1) 教科に関する調査

#### ○令和6年度教科別調査結果（平均正答数及び平均正答率）

全ての教科において、平均正答率（本県）は平均正答率（全国）と概ね同等である。

国立教育政策研究所の令和6年度全国学力・学習状況調査報告書には、「全ての都道府県・指定都市が平均正答率の±10%の範囲内であり、大きな差は見られない。」と表記されている。

令和6年度 本県の調査結果（公立）

	小学校調査		中学校調査	
	国語	算数	国語	数学
平均正答数（本県）問	9.5/14	9.9/16	8.7/15	8.2/16
平均正答数（全国）問	9.5/14	10.1/16	8.7/15	8.4/16
平均正答率（本県）%	68	62	58	51
平均正答率（全国）%	67.7	63.4	58.1	52.5

令和5年度 本県の調査結果（公立）

	小学校調査		中学校調査		
	国語	算数	国語	数学	英語
平均正答数（本県）問	9.3/14	9.8/16	10.5/15	7.5/15	7.3/17
平均正答数（全国）問	9.4/14	10.0/16	10.5/15	7.6/15	7.7/17
平均正答率（本県）%	66	61	70	50	43
平均正答率（全国）%	67.2	62.5	69.8	51.0	45.6

※都道府県の平均正答率については、文部科学省が平成29年度から整数値で公表している。

※後日実施した学校のデータは、全体の集計からは除外されている。（全国共通）

## (2) 質問調査

### ①児童生徒質問調査

○児童生徒質問調査においては、これまで肯定的な回答が多かった、学習に対する興味関心・規範意識・自己有用感・生活習慣に関する項目について、全国平均と比べて引き続き高い傾向にある。

・児童生徒共通して、「国語の勉強は好きですか」等、国語の学習に対する興味関心に関する項目で、全国平均を上回っている。

小 +2.5 ポイント(山梨 86.5% 全国 84.0%) <R5 山梨 86.2% 全国 83.6%>

中 +1.2 ポイント(山梨 84.1% 全国 82.9%) <R5 山梨 83.5% 全国 80.6%>

・児童生徒共通して、「人が困っている時には進んで助けていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」等の規範意識に関する項目で、全国平均を上回っている。

小 +1.1 ポイント(山梨 96.2% 全国 95.1%) <R5 山梨 95.9% 全国 94.8%>

中 +1.3 ポイント(山梨 95.0% 全国 93.7%) <R5 山梨 94.6% 全国 92.7%>

・児童生徒共通して、「自分にはよいところがあると思っていますか」「将来の夢や目標を持っていますか」等の自己有用感に関する項目で、全国平均を上回っている。

小 +2.5 ポイント(山梨 88.0% 全国 85.5%) <R5 山梨 87.2% 全国 84.9%>

中 +3.1 ポイント(山梨 83.1% 全国 80.0%) <R5 山梨 80.9% 全国 77.9%>

・児童生徒共通して、「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」等の生活習慣に関する項目で、全国平均を上回っている。

小 +2.8 ポイント(山梨 92.2% 全国 89.4%) <R5 山梨 91.0% 全国 88.5%>

中 +1.3 ポイント(山梨 89.4% 全国 88.1%) <R5 山梨 88.1% 全国 86.8%>

※前年度よりも肯定的な回答の割合が高くなった主な項目

○児童生徒共通して、「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどの ICT 機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）【30 分以上】」という調査項目で、ICT 機器を活用すると回答した児童生徒の割合が高くなった。

小 +4.1 ポイント(山梨 48.3% 全国 44.2%) <R5 山梨 44.9% 全国 41.1%>

中 +2.2 ポイント(山梨 38.6% 全国 36.4%) <R5 山梨 33.9% 全国 31.2%>

○児童生徒共通して、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という調査項目で、割合が高くなった。

小 +1.8 ポイント(山梨 85.3% 全国 83.5%) <R5 山梨 78.6% 全国 76.8%>

中 +4.4 ポイント(山梨 80.5% 全国 76.1%) <R5 山梨 71.5% 全国 63.9%>

## ②学校質問調査

○学校質問調査においては、学校運営、教職員の資質向上に関する項目について、全国平均を上回った。

- ・小学校中学校共通して、学校運営に関する項目で、全国平均を上回っている。  
小 +0.3 ポイント(山梨 96.4% 全国 96.1%) <R5 山梨 93.3% 全国 95.1%>  
中 +1.7 ポイント(山梨 94.6% 全国 92.9%) <R5 山梨 91.9% 全国 91.5%>
- ・小学校中学校共通して、教職員の資質向上に関する項目で、全国平均を上回っている。  
小 +5.3 ポイント(山梨 97.0% 全国 91.7%) <R5 山梨 94.6% 全国 90.5%>  
中 +8.5 ポイント(山梨 96.7% 全国 88.2%) <R5 山梨 94.3% 全国 86.5%>

○学校質問調査においては、家庭や地域との連携、小学校教育と中学校教育の連携に関する項目で、全国平均を下回った。

- ・小学校中学校共通して、家庭や地域との連携に関する項目で、前年度よりも肯定的な回答の割合が高くなっているものの、依然として全国平均を下回っている。コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の仕組みを生かした取組の充実を図る必要がある。  
小 -4.0 ポイント(山梨 84.9% 全国 88.9%) <R5 山梨 80.9% 全国 86.1%>  
中 -7.0 ポイント(山梨 77.1% 全国 84.1%) <R5 山梨 66.3% 全国 79.3%>
- ・小学校中学校共通して、小学校教育と中学校教育の連携に関する項目で、全国平均を下回っている。近隣等の小学校中学校で、教育課程に関する共通した取組の充実を図る必要がある。  
小 -8.3 ポイント(山梨 55.7% 全国 64.0%) <R5 山梨 58.7% 全国 60.6%>  
中 -5.1 ポイント(山梨 63.9% 全国 69.0%) <R5 山梨 55.4% 全国 66.8%>

※前年度よりも肯定的な回答の割合が高くなった主な項目

○小学校中学校共通して、「前年度までに、児童（生徒）一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器を、授業でどの程度活用しましたか【週3回以上】」という調査項目で、割合が高くなった。

- 小 +1.4 ポイント(山梨 94.6% 全国 93.2%) <R5 山梨 86.8% 全国 90.6%>  
中 +2.0 ポイント(山梨 92.8% 全国 90.8%) <R5 山梨 89.1% 全国 86.7%>

### 3 令和6年度の学力向上に向けた取組

#### 《年間を通じた取組》

#### 1 学力向上総合対策事業の推進

- 学力向上推進事業（学力向上対策会議、学力向上フォーラム、学力向上キャラバン）
- 山梨県学力把握調査事業  
（中2国数英：1人1台端末等を用いたオンライン方式で実施）
- 学力向上支援スタッフ配置事業、スクール・サポート・スタッフ配置事業
- Yamanashi English Action
- 新たな学びの姿に向けた授業改善推進事業
- 少人数教育効果検証・推進事業
- 令和のやまなし教育活動モデル推進事業
- 家庭学習習慣化促進事業
- 若手教員グローアップ事業

#### 2 地域の実態に応じた取組の実施

- ・地域学力向上推進幹を中心とした、各地域の特色や課題に焦点を当てた学力向上対策の推進

#### 3 指導主事による学校訪問

- ・市町村、学校毎の状況を把握し、指導改善の取組の周知・徹底
- ・「子供主体の授業への転換」に向けた取組の推進

#### 4 県内市町村におけるコミュニティ・スクールの拡大・充実

- ・国の補助金事業や「CSマイスター派遣事業」等の活用、担当指導主事による要請訪問等を通じたコミュニティ・スクールの円滑な設置の支援
- ・山梨県教育委員会と文部科学省の共催による「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」の開催

#### 5 学級経営の充実に向けた取組の推進

- ・児童生徒が所属感、自己有用感を持つことができるよう、集団としての意見をまとめたり、個人として問題解決に向けた目標や方法・内容等を決定したりする活動を引き続き県全体で推進
- ・総合教育センターにおける特別研修会Ⅰにおいて、大学の教授を講師に招聘して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた学級経営」をテーマにした研修会の実施

#### 6 ICTを活用した指導の充実に向けた取組

- ・ICTを効果的に活用した授業づくりに関する研修会の開催
- ・教育課程研究会の実践事例の周知

## 《各種学力調査実施後の取組》

### 7 県教委による採点及び各種説明会を通じた早期の授業改善の推進

- ・自校採点の方法等についての資料を校務支援システムにて配付（各校の課題把握のための自校採点を促し、課題克服に向けた早期の授業改善につなぐ）
- ・総合教育センター指導主事（小・中・高）による全国学力・学習状況調査の早期採点及び大学と連携した結果分析
- ・結果から見られた課題と授業の改善・充実に向けた授業づくりのポイントをまとめた冊子の作成・配付
- ・授業改善のための組織的な対応を促すため、全国学力・学習状況調査の早期採点の結果を踏まえた「授業の改善・充実に向けた説明会Ⅰ」をオンラインにて開催（小・中同日：5月30日）

### 8 「学力向上フォーラム2024」の開催（8月22日）

- ・全国学力・学習状況調査より明らかになった課題、学校での学習と学力向上対策等についての指導主事による説明
- ・大学の教授を講師に招聘して、「学習者用デジタル教科書の活用で「子供主体の授業」への転換を加速する」をテーマにした講演とワークショップの実施

### 9 各種学力調査の分析結果を反映させた説明会の実施

- ・本県児童生徒の学力調査における実態と課題を共有するため、各種学力調査（全国学力・学習状況調査、山梨県学力把握調査、山梨県公立小中学校教育課程実施状況調査）の結果を踏まえた「授業の改善・充実に向けた説明会Ⅱ」をオンラインにて開催（小・中同日：8月27日）
- ・各種研修会や学校要請訪問の中で、分析結果をもとにした授業改善の取組を説明

### 10 「授業改善のPoint」の作成・配付

- ・授業改善に向けた取組を推進するため、全国学力・学習状況調査、山梨県学力把握調査、山梨県公立小中学校教育課程実施状況調査を踏まえた授業改善のポイント資料を小学校4教科(国・社・算・理)、中学校5教科(国・社・数・理・英)で作成し、各校に配付
- ・山梨県総合教育センターホームページ及び校務支援システムのキャビネットからダウンロードできるようにし、各校へ周知
- ・指導主事による学校訪問等での周知・徹底

### 11 「ピックアップ問題」の作成・配信

- ・全国学力・学習状況調査の結果を受け、課題が見られた問題をピックアップ問題としてまとめ、校務支援システムのキャビネットからダウンロードできるようにし、各校での活用を推進
- ・1人1台端末等での活用を推進

## 補助資料

### 1. 教科に関する調査（国語、算数・数学）の本県の結果概要

以下の3つの視点から分析を行った。

- 正 正答率が高いまたは低い主な設問
- 差 全国の正答率と差が見られる主な設問
- 経 経年比較で成果や課題が見られる主な設問

#### 小学校

教科	よくできている設問（○） 課題がある設問（△）		正答率（％）		調査結果のポイント
			山梨県	全国	
国語	○ <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">正</span>	【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものとして、適切なものを選択する。 〔2一（2）〕	87.5	86.9	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができている。
	△ <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">正</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">経</span>	【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く。 〔2二〕	58.3	56.6	目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。
算数	○ <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">正</span>	はじめに持っていた折り紙の枚数を□枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ。 〔12〕	87.3	88.5	数量の関係を、□を用いた式に表すことができている。
	△ <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">正</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">差</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">経</span>	家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く。 〔43〕	27.2	31.0	道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。

中学校

教科	よくできている設問 (○) 課題がある設問 (△)		正答率 (%)		調査結果のポイント
			山梨県	全国	
国語	○ 正	物語を書くために集めた材料を取捨選択した意図を説明したものとして適切なものを選択する。 〔3一〕	81.0	81.4	目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができている。
	△ 正	本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する。 〔2一〕	36.1	36.3	文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することに課題がある。
数学	○ 正	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に3、-5を入れるとき、その和である□に入る整数を求める。 〔6 (1)〕	89.9	90.2	問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができている。
	△ 正 経	18Lの灯油を使いきるまでの「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する。 〔8 (2)〕	16.3	17.1	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。

2. 学習環境や生活の諸側面等に関する質問調査の本県の結果概要

【質問内容の番号は各質問調査の設問番号を表す】

(1) 児童生徒質問調査

※肯定的な回答の割合が比較的高い主な項目

<上段：本県回答率 下段：全国平均との差>

<数値は肯定的な回答をした児童生徒の割合を表す>

質問項目		小学校	中学校
<b>①学習に対する興味・関心や授業の理解度等</b>			
国語に対する興味・関心：4項目の平均		86.5% 2.5	84.1% 1.2
(42)	国語の勉強は好きですか	65.2% 3.2	64.8% 0.5
(43)	国語の勉強は大切だと思いますか	95.8% 1.3	95.1% 1.2
(44)	国語の授業の内容はよく分かりますか	90.0% 3.7	84.5% 1.8
(45)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	94.9% 1.7	92.0% 1.4
算数に対する興味・関心：4項目の平均		84.2% 1.2	
(50)	算数の勉強は好きですか	62.1% 1.1	
(51)	算数の勉強は大切だと思いますか	95.3% 0.7	
(52)	算数の授業の内容はよく分かりますか	84.2% 2.1	
(53)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	95.0% 0.9	
<b>②規範意識：3項目の平均</b>		96.2% 1.1	95.0% 1.3
(12)	人が困っているときは、進んで助けていますか	94.6% 1.9	93.1% 3.0
(13)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.2% 0.5	96.5% 0.8
(15)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.7% 0.8	95.5% 0.3
<b>③自己有用感：3項目の平均</b>		88.0% 2.5	83.1% 3.1
(9)	自分には、よいところがあると思いますか	86.4% 2.3	86.6% 3.3
(10)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	93.2% 3.3	93.3% 2.9
(11)	将来の夢や目標を持っていますか	84.4% 2.0	69.5% 3.2

<b>④生活習慣：3項目の平均</b>		<b>92.2%</b>	<b>89.4%</b>
		<b>2.8</b>	<b>1.3</b>
(1)	朝食を毎日食べていますか	95.2%	92.4%
		1.5	1.2
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	87.5%	82.5%
		4.6	1.8
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	93.9%	93.2%
		2.3	0.7

※前年度よりも肯定的な回答の割合が高くなった主な項目

質問項目		小学校	中学校
<b>⑤前年度よりも肯定的な回答の割合が高くなった項目</b>			
(4)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）【30分以上】	48.3%	38.6%
		4.1	2.2
(25)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	85.3%	80.5%
		1.8	4.4

※肯定的な回答の割合が全国平均を下回った主な項目

質問項目		小学校	中学校
<b>⑥中学校の学習 数学に対する興味・関心や授業の理解度等</b>			
数学に対する興味・関心：4項目の平均			<b>72.8%</b>
			<b>-1.9</b>
(50)	数学の勉強は好きですか		53.6%
			-3.6
(51)	数学の勉強は大切だと思いますか		86.7%
			-0.5
(52)	数学の授業の内容はよく分かりますか		73.8%
			-1.9
(53)	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか		76.9%
			-1.6

## (2) 学校質問調査

※肯定的な回答の割合が比較的高い主な項目

質問項目		小学校	中学校
<b>①学校運営：4項目の平均</b>		<b>96.4%</b>	<b>94.6%</b>
		<b>0.3</b>	<b>1.7</b>
(12)	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育内容を組織的に配列していますか	99.4%	91.6%
		2.1	-2.4
(13)	児童（生徒）の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	99.4%	98.8%
		2.4	2.3
(14)	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	99.4%	92.8%
		2.1	1.0
(75)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映をどの程度行っていますか	87.3%	95.2%
(79)		-5.5	5.9
<b>②教職員の資質向上：3項目の平均</b>		<b>97.0%</b>	<b>96.7%</b>
		<b>5.3</b>	<b>8.5</b>
(16)	授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	100.0%	100.0%
		1.4	5.2
(17)	児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	93.9%	96.3%
		3.9	10.6
(18)	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか（オンラインでの参加を含む）	97.0%	93.9%
		10.6	9.8

※肯定的な回答の割合が全国平均を下回った主な項目

質問項目		小学校	中学校
<b>③家庭や地域との連携</b>			
(70)	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか	84.9%	77.1%
(74)		-4.0	-7.0
<b>④小学校教育と中学校教育の連携</b>			
(68)	前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組をどの程度行いましたか	55.7%	63.9%
(72)		-8.3	-5.1

※前年度よりも肯定的な回答の割合が高くなった主な項目

<b>⑤ICTを活用した学習状況：9項目の平均</b>		<b>71.7%</b>	<b>73.0%</b>
		<b>-2.2</b>	<b>3.2</b>
(53) (57)	前年度に、教員が大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	99.9%	100.0%
		1.1	1.4
(54) (58)	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか	98.2%	95.2%
		3.1	4.4
(55) (59)	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか	87.9%	90.4%
		-1.0	5.8
(56) (60)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか【週3回以上】	94.6%	92.8%
		1.4	2.0
(57) (61)	調査対象学年の児童が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか【週3回以上】	68.5%	71.0%
		-8.1	0.6
(58) (62)	調査対象学年の児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか【週3回以上】	46.7%	50.6%
		-8.4	-1.3
(59) (63)	教職員と調査対象学年の児童がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか【週3回以上】	60.0%	57.8%
		0.3	0.4
(60) (64)	調査対象学年の児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか【週3回以上】	39.4%	50.6%
		-5.6	9.5
(61) (65)	調査対象学年の児童が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか【週3回以上】	50.3%	48.2%
		-2.5	6.0